

2027 年度 募集要項

地域政策学部プレゼンテーション入試



愛知大学
AICHI UNIVERSITY

【目次】

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	P.1	合格発表に関するご案内	P.11
趣旨	P.3	奨学金制度	P.12
募集定員	P.3	学納金等	P.13
出願資格	P.3		
出願書類	P.4	出願書類	
試験日・試験場・選考方法	P.4	■入学志願票(別紙①)	
入学検定料	P.8	■入学検定料振込依頼書(別紙②)	
出願受付	P.8	■写真票/入学検定料振込確認書貼付用紙(別紙③)	
注意事項	P.9	■志望理由書(別紙④)	
合格発表	P.10	■出願資格資料貼付用紙(別紙⑤)	
入学手続	P.10	■出願書類送付用宛名ラベル	

※本募集要項は冊子での配付をしておりませんので、各自で出願書類を印刷してください。

入学者受入方針(アドミSSION・ポリシー)

愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」を建学の精神とし、「高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材」の育成を全学の教育目標として掲げ、各学部・学科ごとに教育目標(教育研究上の目的)及び学位授与方針を定めています。本学では、これを達成するために、定められた教育課程に従い学修する資質、能力及び知識を備えた以下のような学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 建学の精神に即した人材として成長が期待できる学生。
- (2) 優れた能力や豊かな経験に基づく各学部専門教育への強い興味や関心、勉学意欲を持つ学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校において学ぶ各教科の基本的な内容について、幅広く理解していること。 (2) 自身が入学する学部・学科で学ぶ学問に関する書籍等に触れ、基礎的な知識を得ておくこと。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 地域や社会で起こっている事柄に幅広く関心を持ち、その原因や解決方法などを自分なりに考える習慣を持つこと。 (2) 自身の考えや意見を他者に分かりやすく伝えることができるような、表現力を養うこと。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 取り組むべき課題や解決が必要な諸問題に対して、他者とも協働し、主体的に取り組むことができること。 (2) 自分と異なる意見や考え方について肯定的に捉え、多様な人々と積極的にコミュニケーションが取れること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜 基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜 出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜 調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

法学部 法学科

法学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 法や政治、さらに経済など、社会科学の扱うさまざまな事象への関心を持ち、社会正義や人権についての感覚を大切にしている人。
- (2) 法や政治、社会的な諸問題を構造的に理解した上で、その考えを応用してさまざまな問題に対処し、社会に貢献したいという強い意欲を有する人。
- (3) 国際的な観点からわが国の法及び政治の特徴や問題を分析したいという強い意欲を有する人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校の各教科、とりわけ国語、地理歴史・公民、数学についての基本的学力。 (2) 外国語の基礎的な能力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 論理的思考力。 (2) 自分の考えを相手に的確に伝えることができる能力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 社会の動きや状況について関心を持ち続けることができること。 (2) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有していること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数の教科を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部 経営学科

経営学部経営学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 企業、商品、市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
- (2) ビジネスや行政などの様々な領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
- (3) 国家資格等を取得して、特定の専門職のプロフェッショナルを目指そうとする学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 様々な課題に積極的に取り組んできた能力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

現代中国学部 現代中国学科

現代中国学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 中国に対して強い関心を持っている人。
- (2) 現地主義教育を通じて自ら成長したい人。
- (3) アジアを中心とした国際社会で活躍したい人。
- (4) グローバルな視野で社会貢献したい人。
- (5) 異文化体験を通して、自らが所属する文化・社会を理解したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) バランスの良い基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 物事を論理的に考え自分の考えを相手に説明できる能力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 年齢、性別、国籍などの違いを越えて一緒に活動したり、話し合ったりできる力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/現代中国学部グローバル人材特別入試を実施し、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経済学部 経済学科

経済学部では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 主体的に学習する意欲を持っている人。
- (2) 経済・社会に関心を持っている人。解決を必要とする問題を発見し自ら解決できる経済学の専門知識と教養を修得する意欲と実行力を持っている人。
- (3) 地域社会、国内外の社会で活躍、貢献したいと思っている人。
- (4) 他者への思いやりや公正さを重んじ、異なる考え方を尊重する、自立した社会人になりたいと思っている人。
- (5) 柔軟な思考力、創造力を備えるとともに、コミュニケーション能力や表現能力を高めたいと思っている人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 基礎学力(高等学校の各教科、とりわけ、国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科の基礎学力)を有すること。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 基礎的な論理的思考力、的確な主張、文章の表現力を有すること。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 基礎的な会話・コミュニケーション能力を有すること。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

経営学部 会計ファイナンス学科

経営学部会計ファイナンス学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 企業活動、金融市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった学生。
- (2) 一般企業、行政及び教育などの様々な領域で活躍し、社会に貢献することを考えている学生。
- (3) 公認会計士、税理士及び国税専門官などの会計専門職を目指そうとする学生。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等についての十分な、あるいは本学科での学習に円滑に移行することができる程度の基礎学力。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 高等学校段階程度の論理的思考力・判断力・表現力。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 様々な課題に積極的に取り組んできた能力。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課することを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部 英語学科

国際コミュニケーション学部英語学科では、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像

- (1) 英語をはじめとする外国語を習得したい人。
- (2) 異文化理解に関心を持ち、異文化体験を通して視野を広げたい人。
- (3) 国際的な場での社会貢献をしたい人。
- (4) 企業の海外事業や国際流通部門、航空・旅行会社など、海外の人と関わる職業で活躍したい人。
- (5) 英語教師となり地域社会や教育の分野で自らの学びを還元したい人。

2. 入学前までに修得すべき能力

【知識・技能】	(1) 英語学科での教育を受けるのに必要とされる高校卒業程度教育課程を修得している。
【思考力・判断力・表現力】	(1) 物事を論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようと努力できる。
【主体性・多様性・協働性】	(1) 主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲がある。

3. 選抜方法

- (1) 一般選抜/基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
- (2) 総合型選抜/出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接、学科試験等により総合判定して合格者を決定する。
- (3) 学校推薦型選抜/調査票(全体の学習成績の状況)、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

国際コミュニケーション学部 国際教養学科

国際コミュニケーション学部国際教養学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 国際交流に意欲を持っている人。
 - (2) 異文化理解に必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。
 - (3) 異なる社会・文化背景をもつ人々と積極的にコミュニケーションを取ろうとする人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 国際教養学科での教育を受けるのに必要とされる高等学校の教育課程を修得している人。
 - (2) アメリカ・アジア（日本を含む）・ヨーロッパをめぐる歴史、政治、経済、社会、文化、国際関係への関心をもち、必要な知識や技能を積極的に吸収しようとする人。

- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 現在の国際社会の様々な問題を多面的かつ論理的に考え、自分の意見をわかりやすく説明しようとする人。
 - (2) 異文化理解を深めた上で、日本語・日本文化を海外に積極的に紹介したいと考えている人。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 多様な文化背景をもつ人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につける意欲をもった人。
 - (2) 異文化を理解して国際社会や世界の中の地域社会において積極的に貢献したいと考えている人。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、複数科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 人文社会学科

文学部人文社会学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、過去あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人、また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した人文学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 人文・社会系の学問に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 日本語日本文学科

文学部日本語日本文学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 「日本語」「日本文学」「日本語表現」について興味や関心を抱いており、過去から現在、未来へと至る日本文化について思考・構想することに魅力を感じている人。また、それを思考・構想するための高度な知識や分析方法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した日本語・日本文学・日本語表現学に関する専門的知識や研究方法、広義のリテラシー能力を、将来的な自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいとする意志を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 日本語学や日本文学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

地域政策学部 地域政策学科

地域政策学部では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 故郷や住んでいる地域、自然環境を愛し、その変化に関心を持っている人。
 - (2) 地域の問題や地方の課題を解決したいと思っている人。
 - (3) 新しい政治や経済、行政のあり方を追求したい人。
 - (4) 安全・安心で個性的なまちづくり・社会づくりに情熱を持っている人。
 - (5) 知識の習得にとどまらず、豊かな人間性を育みたいと思っている人。
 - (6) 世界の人々と交流し異文化体験を糧として成長したいと願っている人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 地域政策学を学習するために必要な基本的な知識、読解力。
 - (2) ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの基本ソフトを操作する能力。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 基本的な知識・技能を踏まえた論理的思考力・判断力。
 - (2) 地域の問題や政策課題について情報を収集し、分析し、表現する能力。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 目的意識・意欲をもち、継続的にものごとに取り組む能力。
 - (2) 多様な考えを理解し、グループとしての意見を形成する能力。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、所定の教科・科目を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接、プレゼンテーション等の組み合わせにより総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

社会情報学部 社会情報学科

社会情報学部社会情報学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 知識を獲得することに喜びを感じることでできる学生。
 - (2) 獲得した知識を基に物事を論理的に考えることでできる学生。
 - (3) 客観的なデータ・論拠を基に的確な判断を下せる学生。
 - (4) 現代社会における様々な問題に関心を持ち、問題解決に向けて主体的に取り組む意欲のある学生。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科、情報等についての十分な、あるいは本学部での学習を円滑に進めることができる程度の基礎学力。

- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 物事を論理的に考える姿勢。
 - (2) 客観的な論拠に基づいて判断する姿勢。
 - (3) 説得力のある表現を試みようとする姿勢。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 興味・関心のあることに主体的・積極的に取り組む力。
 - (2) 他者との間で円滑にコミュニケーションがとれる力。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 歴史地理学科

文学部歴史地理学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間や社会の歴史的展開や、人々が生活する地理的環境などについて興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した歴史学・地理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 歴史学や地理学に関心があり、基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

文学部 心理学科

文学部心理学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 〔一般選抜〕高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、生物、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
〔学校推薦型選抜〕高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
 - (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
 - (3) 大学において学習、習得した心理学の専門的知識、視座、研究方法と、広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) 心理学を学ぶために必要な基礎的な知識とそれを運用する能力を有している。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) ものごとを自ら論理的に考えるための基礎的能力を有している。
 - (2) 自分の意見などを発表する基礎的能力を有している。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 他者の意見などを聞き対話する基礎的能力を有している。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上課すことを基本とし、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、小論文、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、資格点、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

短期大学部 ライフデザイン総合学科

短期大学部ライフデザイン総合学科では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を養成するために、以下のような資質、能力及び知識を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

1. 求める学生像
- (1) 豊かな教養を求め、自国のことばや文化に関心の高い人。
 - (2) 英語をはじめとする外国語の習得に強い意欲をもち、異文化理解に興味のある人。
 - (3) 社会人・職業人になることを意識的に考え、それに向かって努力できる人。
 - (4) 人と人、人と社会の関係などに問題意識をもち、自ら成長したいと思っている人。
 - (5) 高校時代までにサークル活動、ボランティア活動等に熱中したことがあり、その経験を語る人。
2. 入学前までに修得すべき能力
- [知識・技能]
- (1) さまざまな科目を広く学んだ基礎学力。
 - (2) 日本語による会話・コミュニケーション能力。
- [思考力・判断力・表現力]
- (1) 論理的思考力、的確な主張、文章の表現力。
- [主体性・多様性・協働性]
- (1) 豊かな経験に基づく学習意欲。
3. 選抜方法
- (1) 一般選抜／基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、国語・英語を課し、その結果を総合判定して合格者を決定する。
 - (2) 総合型選抜／出願資格に応じた入試区分を設け、出願書類、面接等により総合判定して合格者を決定する。
 - (3) 学校推薦型選抜／調査票（全体の学習成績の状況）、面接、学科試験により総合判定して合格者を決定する。

1. 趣 旨

人口減少と少子高齢化が進行する中、地域社会が抱える課題は複雑化し、地方創生は喫緊の課題となっている。こうした状況を受け、地方自治体や企業、NPO 等においても、若者の視点を具体的な提案へと昇華し、社会に実装する力が強く求められている。

愛知大学地域政策学部は、「地域を見つめ、地域を活かす」という理念のもと、地域の現場と向き合い、課題の発見から解決の実行までを担う「地域貢献力」の育成を推進している。持続可能な地域社会を創るために必要なのは、誰かの活動に単に「参加する」だけではなく、自らが中心となって企画・提案・実行し、その成果を社会に示す主体性と行動力である。

本学部では、プレゼンテーション入試を通じて、授業の一環としての活動にとどまらず、自らが率先して社会的評価を伴う活動に取り組み、主導的役割を担ってきた者、または他者には代替できない独自のテーマ・方法で挑戦を続けてきた者を幅広く受け入れている。

あわせて、地域の課題解決に向けた実践的活動を入学後も継続して（あるいは新たに）取り組み、将来は地域貢献力をもって社会で活躍したいという強い意志をもった若者を、本入試により選抜する。

2. 募 集 定 員

学部	学科	募集定員
地域政策学部	地域政策学科	10名

3. 出 願 資 格

次の(1)～(5)全項目に該当する者。

(1)	2027年3月に日本（海外の在外教育施設を含む）の高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校卒業見込みの者、または本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業する見込みの者と同等以上の学力があると認めた者。
(2)	本学専願者（本学を第1志望とし、合格者は必ず入学すること）。
(3)	高等学校（特別支援学校の高等部も含む）または中等教育学校の全体の学習成績の状況が3.0以上の者。
(4)	ボランティア活動、NGO・NPO活動、起業活動、国際的な諸事業への参加経験など、より良い地域社会の実現に向けて、個人・団体を問わず、主体的・中心的に活動してきた者（団体の一員として活動し、団体として顕彰された者は除く）。
(5)	入学後も、学生地域貢献事業をはじめ本学部が推奨する実践的活動に積極的に取り組むとともに、実践的活動に役立つ専門科目を履修し高い学習意欲を持ち続ける者。

4. 出 願 書 類

書類		内容	別紙
1	入学志願票	本学所定用紙・自筆・写真貼付	①
2	写真票/入学検定料振込確認書貼付用紙	写真票は、本学所定用紙・自筆・写真貼付 別紙②C票（入学検定料振込確認書）を所定欄へ貼付	③
3	調査書	厳封	
4	志望理由書	本学所定用紙・自筆・800字以内	④
5	出願資格資料貼付用紙	自己アピールのできる現場での実践的活動を証明する資料（総合的な探究の時間における成果物・留学期間が証明できる書類・認定書・新聞記事等）の写しを貼付	⑤

※提出書類を番号順1～5に揃え、クリップでとめてください（ホチキス等使用不可）。

※提出された出願書類に不備があった場合、本学から連絡します。

5. 試験日・試験場・選考方法

二段階選抜により合格者を決定します。

一次試験 出願書類による判定

「活動内容・実績」と「志望理由」の項目について、出願書類の「志望理由書」と「出願資格資料貼付用紙」を中心に主体性・行動力を評価し、合格者を決定します。

一次試験合格発表日：2026年10月1日(木)（詳細はP.10をご確認ください。）

二次試験 一次試験合格者のみ対象

試験日	2026年10月18日(日)
試験場	豊橋校舎
集合時間	9時40分

調査書（全体の学習成績の状況）、プレゼンテーション、個人面接により総合判定して合格者を決定します。

選考方法	試験時間	配点
調査書 (全体の学習成績の状況)		50点 ^(注)
プレゼンテーション 個人面接	10時00分～ ^(*) (プレゼンテーション1人7分以内・ 質疑応答5分程度・個人面接5分程度)	プレゼンテーション200点 個人面接 50点

(注) 全体の学習成績の状況を10倍した数値を得点とします（50点満点）。

(*) プレゼンテーション実施後、引き続き当該試験室にて質疑応答と個人面接を実施します。

受験者数により、待機時間が長くなる場合があります。

■プレゼンテーションのテーマについて

希望するコースごとに設けられたテーマに沿って、プレゼンテーションを行ってください。

コース	テーマ
公共政策コース	高校時代までの活動内容・実績を踏まえ、それを本学入学後に公共政策（社会の公的な問題に関する国や自治体の施策、NPO・NGO の活動、住民相互の合意形成）の学びにどう結びつけ、まちづくりや地域活性化につなげていきたいか。
経済産業コース	高校時代までの活動内容・実績を活かし、それを本学入学後に経済や産業の動き（労働者の雇用や所得、起業、資金調達、事業承継、イノベーション、経済成長や物価、国際的な経済関係など）、それに関する政策の学びにどう結びつけ、グローバル時代の地域経済の発展につなげていきたいか。
まちづくり・文化コース	高校時代までの活動内容・実績を踏まえ、本学入学後に、例えば地域の歴史文化や祭り・伝統工芸を活かしたまちづくり、防災や観光の観点からのまちづくりなど、どのようなまちづくりに、どのように取り組んでいきたいか。
健康・スポーツコース	高校時代までに、競技者または競技を支える立場（トレーナー／アナリスト／マネージャー等）として取り組んだ活動内容・実績を活かし、本学入学後にそれらをどのように発展させ、地域の健康づくり、スポーツ政策や産業、大学スポーツの振興などにつなげていきたいか。
食農環境コース	高校時代までの食・農・環境に関する活動内容・実績を活かし、本学入学後に地域の食や農を活かした地域の活性化にどうつなげていきたいか。

■プレゼンテーションの評価について

高校時代の活動内容や活動実績、入学後にそれらをどのように活かすかという展望、ならびにプレゼンテーション能力を通じて、主体性・行動力、論理的思考力・表現力および自己実現力・忍耐力などを基準に評価します。また、発表後に引き続き実施する質疑応答および個人面接の内容も評価の対象とします。

■プレゼンテーションの時間について

各教室にて1名ずつ、発表を行います。発表後に、その場で質疑応答と個人面接を行います。プレゼンテーションは7分以内に実施してください。7分を超える場合には発表途中で止めることがあります。

質疑応答と個人面接は各5分程度です。質疑応答では評価者よりプレゼンテーション内容の事実確認や論理的思考などを問う質疑がありますので、自分の考えを答えられるようにしてください。

■プレゼンテーションの方法について

本試験でのプレゼンテーションとは、受験者が評価者に対して自らの考えを分かりやすく魅力的に伝えることによって相手（評価者）の理解を得るための方法です。受験者は、自らの考えを評価者に対して正確に伝えるために、大学が用意したパソコンおよびプロジェクター、スクリーンを利用してプレゼンテーションを行ってください。なお、パソコンは、オフライン状態であるため、インターネットを利用することはできませんので注意してください。

レーザーポインターも用意していますので、必要に応じて利用してください。プレゼンテーションでは、受験者自身による説明内容や説明のための工夫を重視します。したがって、音声や動画を流すことは許可しません。

利用するプレゼンテーションソフトは Microsoft® PowerPoint®に限定します。

データファイルは、受験者自身の USB メモリに保存して試験当日に持参してください。試験当日は、受験票の他にプレゼンテーションに係る以下のものを持参してください。

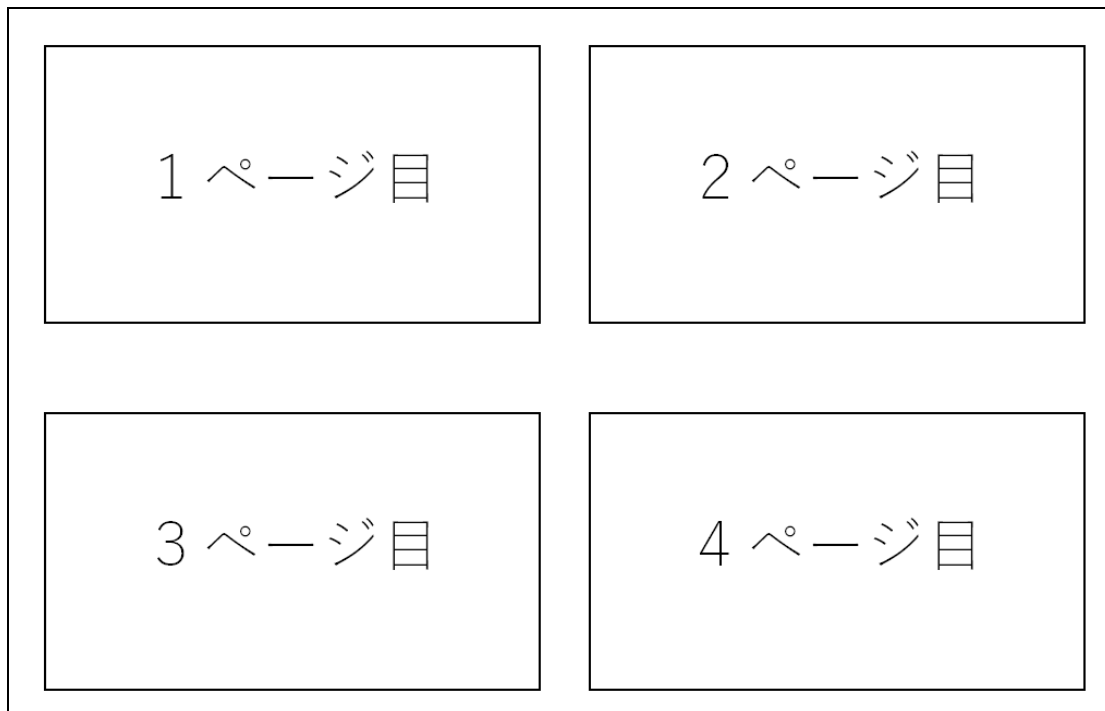
- ・USB メモリ（プレゼンテーションのデータが保存されたもの）
- ・印刷した資料 4 部（A 4 ・カラー 評価者用 3 部、発表者用 1 部）

持参する印刷資料の作成例

A 4 用紙 1 枚当たり 4 枚のスライドを掲載してください。

- ① Microsoft® PowerPoint®で作成したスライドを PDF に変換する。
- ② PDF にしたスライドを印刷する際に、以下のように A 4 用紙（横）1 枚当たり 4 ページを掲載するように設定する。

〔イメージ〕



上記以外にも、Microsoft® PowerPoint®の配付資料マスターを設定する方法もあります。

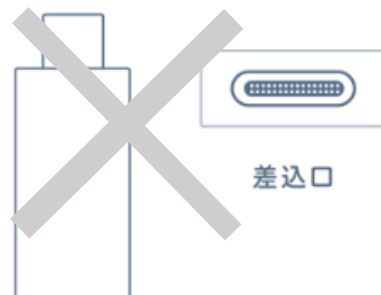
■プレゼンテーションで使用するパソコンについて

＜本学が用意するノートパソコンのスペック＞

メーカー：富士通 品名・型式：LIFEB00K U9313/RX
C P U：Intel Core i5-1335U メモリ：16GB
O S：Microsoft Windows11 Education(64bit)
Office：Microsoft Office Professional Plus 2024

＜受験生が用意する USB メモリコネクタの形状＞

USB Type-A を用意してください。



パソコンに接続する標準的な USB コネクタです。多くのパソコンに、この USB コネクタを接続できるポートが搭載されています。

上下左右を対称の形にした USB コネクタ。プリンタやスキャナなどの周辺機器に用いられることが多い形状です。

＜その他＞

インターネットへの接続はできません。

本学が認めた持参品以外の利用（作品類の持込みや衣装の着用によるPR等）は認めません。なお、動画作品についても作品類の持ち込みとみなします。スライドの中に音声や動画を入れ込むこともできません。

使用したデータファイルは、提出する必要はありません。

大学の機器との接続に関する不具合や、持参データの不具合等が発生した場合は、当日持参いただく印刷した資料をもとに発表いただきます。

6. 入学検定料

金融機関窓口で納入してください。

入学検定料	35,000円
納入期間	2026年9月1日(火) ～ 9月7日(月)《最終日収納印有効》
納入方法	金融機関窓口のみ ・別紙②のA票(入学検定料振込依頼書)・B票(入学検定料領収書)・C票(入学検定料振込確認書)を切り離さずに金融機関窓口にて「電信扱」で納入してください(<u>ATMからは振り込まないでください</u>)。 ・振込手数料は個人負担となります。 ・納入後、B票・C票に取扱金融機関収納印が押されていることを確認してください。 ・B票は領収書になりますので大切に保管してください。 ・入学検定料納入後、C票は別紙③入学検定料振込確認書貼付用紙に貼付し、他の出願書類と併せて大学へ送付してください。

7. 出願受付

出願期間 (郵送のみ)	2026年9月1日(火) ～ 9月7日(月)《必着》
----------------	----------------------------

出願は郵送に限ります。市販の角形2号封筒(A4サイズの書類が入るもの)を用意し、封筒に**出願書類送付用宛名ラベル**を貼り付けてください。出願書類一式を封入し出願期間中に郵便局窓口にて「**簡易書留速達**」で郵送してください(ポストへの投函不可)。入学検定料の支払いが済んでいないもの、出願期間を過ぎたものは受理できません。出願書類は最終日必着です。消印有効ではありませんのでご注意ください。

送付先：〒461-8641 名古屋市東区筒井二丁目10-31 愛知大学企画部入試課

受験票 発送予定日	2026年9月15日(火) 一括発送 ※普通郵便で発送しますので、お手元に届くまで数日かかる場合があります。 ※受験票が届かない場合は、一次試験合格発表日の2日前までに企画部入試課へお問い合わせください。 TEL: 052-937-8112・8113
--------------	--

8. 注意事項

(1) 試験当日の持ちもの

受験票	・受験票は試験時間中、座席カード(受験番号表示)の下に置いてください。 ・受験票を忘れた場合は、試験開始前に試験場本部まで申し出てください。 ・受験票の住所、氏名等に間違いがある場合は、試験2日前までに企画部入試課に連絡するか試験当日に試験場本部に申し出てください。
筆記用具	・HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴムを持参してください。 ・下敷き、定規、コンパスの使用は認めません。
時計	・試験室には時計がありませんので各自で持参してください。 ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の通信機能や辞書機能を持つもの、またそれらの機能の有無が判別しづらいものを時計として使用することはできません。
USBメモリ	・プレゼンテーションのデータが保存されたものを持参してください。 ・メモリコネクタの形状はUSB Type-Aとなります。(P. 7 参照)
印刷資料	・プレゼンテーションのデータをA4 カラーで4部印刷し、持参してください。(P. 6 参照)
昼食	・必要に応じて昼食を持参してください。

(2) 試験当日の注意

- ・試験場を間違えると受験できなくなりますので、充分注意してください。
- ・9時40分までに入室し、着席してください。
- ・試験開始後20分を超えて遅刻した場合は受験できません。万一、やむを得ず遅刻する場合は、試験開始前までに受験票記載の連絡先に連絡してください。なお、交通トラブル等により遅刻する場合は各公共交通機関が発行する遅延証明書を必ず取得してください。
- ・試験中の途中退室は認めません。試験中気分が悪くなった場合は監督者に申し出てください。
- ・休憩時間等、試験室の外に出る際には、必ず受験票を携帯してください。
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんにしまってください。試験開始後に操作した場合は不正行為とみなします。
- ・他の受験者の迷惑となる行為や監督者等の指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。
- ・机の上に置けるものは、受験票の他に黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、USBメモリ、印刷資料、メガネ、ハンカチ、袋から出したティッシュペーパー、目薬です。また、ひざ掛けや上着等は、試験実施に影響の無いもの(過度な英文字や地図等のプリントが無いもの)であれば使用できます。
- ・各試験場とも前日の問い合わせ等の受付窓口は開設しません。また、試験場建物内の下見はできません。
- ・大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ(試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります)、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験者負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
- ・試験時間中に日常生活騒音等(監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・鉄道・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置はありません。
- ・「学校保健安全法」で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等)に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者は受験できません。該当する場合は、試験当日の午前10時までに受験票記載の連絡先へお申し出ください(罹患の場合、後日、感染を証明する診断書等の提出が必要となります)。なお、追試験は実施しません。
- ・発熱や咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。また、試験場で発熱や咳等の症状がある受験者には、試験監督等から座席の移動や試験室の変更をお願いする場合があります。

(3) その他の注意

- ・専願制の入試種別で入学を許可された者が入学を辞退した場合は、翌年度よりその学校からの当該入試種別の出願を受理しないことがあります。
- ・いったん受理された書類および納入された入学検定料は、原則返還しません。
- ・出願後の志願学部・学科・コース等の変更は一切認めません。
- ・入試結果(合否結果から入学状況まで)を出身学校へ通知します。
- ・障がい等により、受験・修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、8月31日(月)までに必ず企画部入試課へお問い合わせください。申請手続を説明し、必要書類をお送りします。本学の入学試験における特別措置は、原則として大学入学共通テストでの措置内容に準じ、可能な限り対応します。また、出願後の不慮の事故等により、受験時に特別な配慮を必要とする場合も速やかにお問い合わせください。

9. 合格発表

一次試験	2026年10月1日(木) 10時00分～
------	-----------------------

- ・一次試験の合格発表は受験生向けサイト (<https://adm.aichi-u.ac.jp/>) にて公表します。

二次試験	2026年11月2日(月) 10時00分～
------	-----------------------

- ・本学では合格発表に「オンライン合否照会」ページを使用します。P. 11の案内に従って合否照会を行ってください。
- ・別途合格通知書および入学手続書類の郵送はありませんので、ご注意ください。
- ・合否に関する本学へのお問い合わせには一切応じません。

利用上の注意

- ・本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした入学手続の遅れは認められません。
- ・合否照会は利用期間外は利用できません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- ・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- ・合否の結果に関し、電話等でのお問い合わせは受け付けません。
- ・パソコン等のブラウザ設定によっては、画像のずれ、文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。

10. 入学手続

合格者の入学手続は、第一次入学手続と第二次入学手続に分かれています。それぞれの期限内に所定の手続きをしてください。なお、入学手続の詳細は、合格発表日以降、「マイページ」にて「入学案内」を取得しご確認ください。

区分	期限	内容
第一次入学手続	2026年11月 9日(月)	入学金納入
第二次入学手続	2026年12月22日(火)	授業料等納入
	2026年12月22日(火) 15時00分	学籍関連情報・写真登録
	2027年 3月 5日(金)《消印有効》	入学手続書類提出 ^(※)

(※) 入学手続書類として、卒業証明書(高等学校発行)等をご準備いただく必要があります。

※入学前教育について

合格した場合、入学前教育に係る費用負担が発生する可能性があります。
詳細は合格発表日以降、「マイページ」にて「入学案内」を取得しご確認ください。

重要

合格発表に関するご案内

愛知大学の「合格発表」はオンライン合否照会ページを通じて行います。
受験番号をご用意の上、以下の案内に従ってご確認ください。

STEP 1 オンライン合否照会ページにアクセス

方法①

愛知大学受験生向けサイトのTOPページからの遷移

TOPページにある合格発表バナーを選択
(URL: <https://adm.aichi-u.ac.jp/>)

方法②

QRコードの読み込み

スマートフォン等で右記のQRコードを読み込む
※10月中旬以降アクセス可能となります。

方法①



方法②



オンライン合否照会

STEP 2 認証ページ

オンライン合否照会ページの認証画面へ進み受験番号と生年月日を入力

【注意事項】

受験番号 (半角英数字)
受験票に記載のある6桁を入力

生年月日 (半角数字)
生年月日を8桁で入力
(例: 2008年1月15日 → 20080115)
※0を含めた形で入力してください

STEP 3 合否照会

合否の確認

下記画面はイメージです。実際の画面と異なる可能性があります。

オンライン合否照会		
現代中国学部グローバル人材特別入試		
合格	学部学科 現代中国学部 現代中国学科	受験番号 91L001

オンライン合否照会		
現代中国学部グローバル人材特別入試		
不合格	学部学科 現代中国学部 現代中国学科	受験番号 91L001

STEP 4 入学手続 (合格者のみ)

愛知大学受験生向けサイトから入学手続専用「マイページ」へ遷移

※遷移後は案内に従って手続きを進めてください。



1.1. 奨学金制度

●教育ローン援助奨学金

日本政策金融公庫等が取り扱う教育ローンを利用して、学納金等(入学金を含む)を期限内に納付した場合、奨学金を給付する制度です。教育ローン契約者は、父母またはそれに代わる人のいずれかに限ります。教育ローンの利子のうち、在学中(最短修業年限内)は利子の一部(上限5%)を奨学金として給付します。また、教育ローン利用契約時に別途保証料を支払った場合については、その保証料を採用初年度に限り、10万円を限度に給付するものです。申請時期は5月または10月です。

●日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、国および社会にとって有用な人材を育成することを目的とし、成績が平均水準以上で経済的な理由により奨学金を必要とする学生に対して学資を貸与します。申込説明会は4月、決定時期は6月を予定しています。

(参考：2026年度実績)

貸与種別		第一種奨学金(無利息)		第二種奨学金(有利息)
貸与月額		自宅通学	自宅外通学	短大・学部とも 20,000円から120,000円までの中から 1万円単位で選択
		学部	学部	
		短大	短大	
		20,000円、30,000円、 40,000円、54,000円から選択	20,000円、30,000円、 40,000円、50,000円、 54,000円、64,000円から選択	
		20,000円、30,000円、 40,000円、53,000円から選択	20,000円、30,000円、 40,000円、50,000円、 53,000円、60,000円から選択	
主な 成績基準	1年次	高等学校又は専修学校高等課程の成績が3.5以上の者		出身学校における学業成績が平均水準以上の者
	2年次 以上	大学における学業成績が本人の属する学部(科)の上位1/3以内の者		大学における学業成績が平均水準以上の者
貸与始期		4月		4月
返還方法等		卒業後に無利息で返還する		卒業後に年利率3%を上限とした利息を上乗せして返還する(在学中は無利息)

●高等教育の修学支援新制度

本学は、国による「高等教育の修学支援新制度」対象機関として認定されています。学業成績や家計に係る基準を満たす対象者は、本学在学にあたり支援を受けることができます。申込説明会は、入学後毎年春および秋を予定しています。

制度の詳細は、文部科学省のHP (<https://www.mext.go.jp/kyufu/>) にてご確認ください。

なお、本学では出身学校在学時に予約採用された方も入学手続期限までに入学金および学納金等を納入いただき、入学後、区分に応じた減免額を返金します。

●学業奨励金(給付)

2年次以上を対象に、前年度に修得した科目の単位数および成績に基づき審査を行い、学業成績が特に優れた学生に対して給付します。採用人数は131名。

金額	申請・給付時期
授業料半額相当額	給付時期：春学期分6月、秋学期分11月を予定 (春秋ともに申請不要) (注)

(注) 採用決定は大学が行います。なお、奨学金を受給するには手続書類の提出が必要です。

●応急奨学金(給付)

主たる家計支持者の死亡・失職・災害等によって家計が急変し、学業の継続が困難になった学生を対象とします。なお、出願事由は入学後を対象とします。

金額	申請・給付時期
申請した学期の学費(授業料および教育充実費)相当額	出願事由発生後6か月以内

12. 学納金等

●学納金（2027年度入学生）（単位：円）

種別		学部	地域政策学部
入学金	第一次入学手続		250,000
授業料	第二次入学手続		385,000
教育充実費			125,000
入学手続時納入額	第一次入学手続計		250,000
	第二次入学手続計		510,000
授業料			385,000
教育充実費			125,000
秋学期計(納入期限：2027年9月15日)			510,000

※授業料は2年次以降10,000円ずつ増額となります。※学納金等は変更となる場合があります。必ず「入学案内」をご確認ください。
 ※入学金は初年度（入学年度）のみ徴収します。2年次以降は授業料と教育充実費を徴収します。本学の事情によって入学後の学納金等を改定する場合があります。

注意事項

- ① 本学では、入学前に寄付金・学校債等の募集は行っておりません。入学後に教学組織および教育環境の整備・充実、学生支援活動の充実・強化、社会貢献活動の推進等を使途とした募金(寄付金)を学生の保証人の方をお願いしておりますが、応募は任意です。
- ② 学納金のうち、授業料および教育充実費については学期毎に納入することになります。
- ③ いったん納入された学納金は返還しません。ただし、所定の期日までに入学辞退の手続きをした場合、入学金を除く入学手続時納入金を返還します。
- ④ 次のコースは実習費の納入が必要です。

(単位：円)

学部・コース		種別	金額	納入時期
地域政策学部	食農環境コース	実験実習費	50,000	2年次

●委託徴収金（2027年度入学生）

委託徴収金は本学が関係諸団体から依頼を受け徴収するものです。

(単位：円)

種別		学部	地域政策学部
後援会・同窓会費	入学手続時1回のみ		40,000

※金額は変更となる場合があります。必ず「入学案内」をご確認ください。

【交通アクセス】

豊橋校舎

(文学部・地域政策学部・短期大学部)

愛知県豊橋市町畑町 1-1 TEL 0532-47-4111 (代表)

<アクセス>

〔鉄道〕 豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅隣接(新豊橋駅より乗車時間 6 分)

入学試験当日は、天候や事故などにより、予期せぬ公共交通機関の遅延などが発生する可能性があります。そのため、試験場までの複数の移動手段、代替ルートを事前に想定することをおすすめします。また、早めに試験場に到着するように心がけてください。試験当日、以下のURLにて緊急時の本学の対応措置についての情報が確認できます。

受験生向けサイト (パソコン・スマートフォン) <https://adm.aichi-u.ac.jp/>



<個人情報の取扱いについて>

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、

(1) 入学試験の実施 (出願処理・試験の実施等)

(2) 入学手続、各種案内

(3) 入学者選抜方法改善及び広報改善のための調査・アンケート

とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。

なお、本学は上記利用目的のため、その業務の一部を本学が定める個人情報取扱の基準を満たす業者 (以下、「委託業者」という) において行います。業務を委託するに当たり、委託業者に対して委託業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。提供に際しては、委託業者に対しても、契約により適切な管理を義務付けています。予めご了承ください。

感染症や災害等の影響によって、予定している試験が実施困難と判断される場合、内容を一部変更し、実施する可能性があります。なお、変更内容は決定次第、速やかに受験生向けサイトにてお知らせします。

企画部入試課

〒461-8641 名古屋市東区筒井二丁目10-31
TEL (052) 937-8112・8113 (直通) (平日 9 時～17 時)

※受験及び修学上、特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち必ず企画部入試課までお問い合わせください。

裏面の記入上の注意をよく読んでから、※欄以外を黒ボールペンで正確に記入してください。

受験番号	※										※									
フリガナ (18文字以内)																				
氏名 (姓6文字以内、名6文字以内)																				
生年月日	西暦		年		月		日		性別	男：1		女：2								

学部・コース (コードを○で囲む)	地域政策学部 地域政策学科			
	公共政策コース	71	健康・スポーツコース	75
	経済産業コース	72	食農環境コース	76
	まちづくり・文化コース	73		

出身高校	出身高校等コード						卒業（見込）年月									
	都道府県						西暦 年 月									
	学校															
出身課程 (コードを○で囲む)	全日制		定時制		通信制		その他		全日制		定時制		通信制		その他	
	0		1		2		3		0		1		2		3	
出身学科 (コードを○で囲む)	普通科	理数科 英語科	商業科	工業科	家政科	総合学科	その他	普通科	理数科 英語科	商業科	工業科	家政科	総合学科	その他		
	0	1	2	3	4	5	6	0	1	2	3	4	5	6		

志願者連絡先	〒 □ □ □ - □ □ □ □														
	都道府県														
	TEL①（必須）	-						-							
	TEL②	-						-							
	メールアドレス（必須）	@													
合				1				2							
※				※				※							
※				※				※							

＜アンケート＞
このアンケートは今後の学生募集活動を行うための参考とさせていただくことを目的としています。
目的をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。本アンケートの回答内容は合否には一切関係ありません。

オープンキャンパスに参加されましたか		本学の受験を決めた時期	
はい	いいえ	高校	年生 月頃

写真貼付欄

全面のり付け

提出前3ヶ月以内に撮影
上半身・正面・脱帽
縦4.0cm×横3.0cm
写真裏面に氏名・志願
学部名を記入したもの

出身高校等コードは大学入学共通テスト用のコードを記入してください。

志願者連絡先は、受験票等の送付先住所、電話番号及びメールアドレスを記入してください。

住宅名（マンション、団地等）、棟、部屋番号、下宿先名（寮等）は住所欄の3行目に記入してください。

1行目の余りマスに次の語句が書ききれない場合はその余りの部分を空白とし、2行目の始めから書き入れてください。

電話番号は志願者本人と連絡が取れる番号にしてください。

メールアドレスは出願や入学の手続に関わる連絡をすることがありますので、正確に記入してください。

※

入学志願票記入上の注意

記入例

- ※欄を除くすべての項目を志願者が記入してください。
- 訂正は二重線で行い、訂正印を押印してください。出願後の内容変更は一切認めません。

2027年度愛知大学入学志願票 地域政策学部プレゼンテーション入試

別紙①

裏面の記入上の注意をよく読んでから、※欄以外を黒ボールペンで正確に記入してください。

受験番号	※	※
フリガナ (18文字以内)	アイタ [○] イ	ハナコ
氏名 (姓6文字以内、名6文字以内)	愛大	花子
生年月日	西暦 2008 年 12 月 5 日	性別 男:1 女:②

学部・コース (コードを○で囲む)	地域政策学部		地域政策学科	
	公共政策コース	⑦1	健康・スポーツコース	75
	経済産業コース	72	食農環境コース	76
	まちづくり・文化コース	73		

出身高校	出身高校等コード						卒業(見込)年月	
	2	3	8	9	7	Z	西暦 2027 年 3 月	
	愛知 都道府県⑧ 名古屋東高等 学校							

出身課程 (コードを○で囲む)	全日制	定時制	通信制	その他
	①	1	2	3

出身学科 (コードを○で囲む)	普通科	理数科 英語科	商業科	工業科	家政科	総合学科	その他
	①	1	2	3	4	5	6

志願者連絡先	〒 4 6 0 - 0 0 0 0											
	(都道府県) 愛 知 県 名 古 屋 市 東 区 天 神 町 白 壁											
	4 丁 目 5 6 - 7 7											
	コ ー ポ 緑 ケ 丘 B - 3 2											
	TEL①(必須)	××× - △△△ - □□□□										
	TEL②	〇〇〇 - ××× - △△△△										
メールアドレス(必須)	aichidaigaku @ 〇〇〇〇.co.jp											

合		1		2	
※		※		※	
※		※		※	

＜アンケート＞
このアンケートは今後の学生募集活動を行うための参考とさせていただくことを目的としています。
目的をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。本アンケートの回答内容は可否は一切関係ありません。

オープンキャンパスに参加されましたか	本学の受験を決めた時期
はい	高校 3 年生 8 月頃

写真貼付欄

全面のり付け

提出前3ヶ月以内に撮影
上半身・正面・脱帽
縦4.0cm×横3.0cm
写真裏面に氏名・志願
学部名を記入したものを

写真の貼り
忘れに注意

フリガナは18文字以内、姓と
名の間はスペースを開けてく
ださい。スペース、濁点、半
濁点も1文字とします。

氏名は住民票記載の氏名を、
姓6文字以内、名6文字以内で
記入してください。

ただし、受験票や合格通知書
に記載される氏名は原則とし
てJIS第2水準までのものを
使用しますので、規格にない漢
字は類字を使用することがあ
ります。

また、外国籍の志願者で入学
後に通称名の使用を希望する
場合は、住民票記載の通称名
を記入してください。

出身高校等コードは大学入
学共通テスト用のコードを
記入してください。

国際科や国際ビジネス科など、
国際系学科は「1」
(理数科、英語科)を選択
してください。

志願者連絡先は、受験票等の
送付先住所、電話番号及び
メールアドレスを記入してく
ださい。

住宅名(マンション、団地
等)、棟、部屋番号、下宿先
名(寮等)は住所欄の3行目
に記入してください。

1行目の余りマスに次の語句が
書ききれない場合はその余り
の部分を書き入れ、2行目の始
めから書き入れてください。

電話番号は志願者本人と連絡
が取れる番号にしてください。

メールアドレスは出願や入学
の手続に関わる連絡をするこ
とがありますので、正確に記
入してください。

A

取扱店保管

入学検定料振込依頼書

振込手数料は振込依頼人様のご負担となります

送り先	三菱UFJ銀行 すすがぜ支店			振込金額	¥	3	5	0	0	0	
受取人	預金種目	普通	口座番号	1672903	振込手数料						
	氏名	ガッコウホウジン アイチ ダイガク 学校法人 愛知大学			内訳	現金					
振込 依頼人 (志願者)	カナ氏名					当店券					
	漢字氏名					他店券					
	住所	□□□-□□□□ TEL - -			取扱金融機関収納印 ① 取扱期間2026年9月1日(火) ~9月7日(月) 期間外取扱不可						

取扱金融機関へのお願い

1 電信扱として太枠内を打電してください。

打電内容 フ 1672903 ¥35,000 ガッコウホウジン アイチダイガク カナ氏名

2 取扱金融機関収納印を①~③に押印の上、B・C票を振込依頼人へお返しください。

3 取扱期間を過ぎたものは受付しないでください。

4 ATMでの取り扱いはできません。

報告 オンライン	記帳	照合
-------------	----	----

(金融機関で切りはなしてください)

B

本人保管

入学検定料領収書

(兼振込手数料)

2027年度愛知大学

地域政策学部プレゼンテーション入試

漢字氏名			
振込金額	¥35,000	振込手数料	
送り先	三菱UFJ銀行 すすがぜ支店		
受取人	学校法人 愛知大学		

上記金額を入学検定料として領収しました。

一旦受領した入学検定料は原則返還しません。

取扱金融機関収納印のないものは無効です。

取扱金融機関収納印
②
取扱期間2026年9月1日(火) ~9月7日(月)
期間外取扱不可

(振込後、切りはなしてください)

C

大学提出

入学検定料振込確認書

2027年度愛知大学

地域政策学部プレゼンテーション入試

漢字氏名			
振込金額	¥35,000	振込手数料	

取扱金融機関収納印のないものは無効です。

取扱金融機関収納印
③
取扱期間2026年9月1日(火) ~9月7日(月)
期間外取扱不可

2027年度愛知大学 地域政策学部プレゼンテーション入試

写真票

受験番号欄以外を記入の上、写真を貼付してください。

受験番号	※大学記入欄		
志願先 (コードを○で囲む)	地域政策学部 地域政策学科	公共政策コース	71
		経済産業コース	72
		まちづくり・文化コース	73
		健康・スポーツコース	75
		食農環境コース	76

※必ず「【別紙①】入学志願票」の志願先と一致させてください。

フリガナ		
氏名	姓	名
性別 (○で囲む)	男 ・ 女	

写真貼付欄

全面のり付け

提出前3ヶ月以内に撮影
上半身・正面・脱帽
縦4.0cm×横3.0cm
写真裏面に氏名・志願
学部名を記入したもの

入学検定料振込確認書貼付用紙

入学検定料振込後、別紙②のC票（入学検定料振込確認書）を貼付してください。

C

大学提出

入学検定料振込確認書貼付欄

受験番号	※
------	---

2027年度 愛知大学志望理由書
(地域政策学部プレゼンテーション入試)

(800字詰：横書き)

[illegible]

〔志望理由書作成上の注意〕

- ※欄は記入しないでください。
- 黒インクまたは黒ボールペンを使用して、自筆で記入してください。
- 「高校時代までの活動と入学後の活かし方」「地域貢献への意欲」を中心に、800字以内で簡潔にまとめてください。

出願資格資料貼付用紙

受験番号

※

※欄は記入しないでください。

氏 名	(フリガナ)	資料枚数	／の右側に提出する資料貼付用紙の総数、 左側に何枚目かを記入してください。
		／	

貼 付 欄

出願資格に該当する証明書や資料（いずれもコピー可）をこの枠内に貼付してください。

※本人の実績を客観的に証明するものであること。

〔注 意〕

1. 出願資格に該当する現場での実践的活動の証明書や資料等の写しをこの枠内に貼付してください。
2. 用紙1枚につき、証明書、資料を1枚貼付してください。
資料が複数ある場合は、本紙をコピーして使用してください。
3. 大きいものはこの用紙の枠からはみ出さないように縮小してから貼付してください。
また、資料は重ねて貼付したり、貼付後に折り曲げないようにしてください。
4. 各貼付物の個人名が記載された箇所にピンク色のマーカーで印をつけてください。
新聞記事や学内誌等を貼付する場合は、余白に掲載紙名、掲載日（年月日）を記載してください。

速 達

切手貼付

(簡易書留速達分)

〒 4 6 1 - 8 6 4 1

名古屋市東区筒井二丁目 1 0 - 3 1

簡
易
書
留

愛知大学企画部入試課 行

2027年度 愛知大学

地域政策学部プレゼンテーション入試 出願書類在中

差 出 人	現住所	〒 —		
	フリガナ		電話番号(志願者本人と連絡が取れる番号)	
	氏名		() —	
	学校名	都 道 府 県		学校
	志願先	地域政策 学部 地域政策 学科		コース

●以下の書類が入っていますか？ もう一度確認し、□にチェックしてください。

提出書類	☐	【別紙①】入学志願票	全員
	☐	【別紙③】写真票/入学検定料振込確認書貼付用紙	全員
	☐	調査書	全員
	☐	【別紙④】志望理由書	全員
	☐	【別紙⑤】出願資格資料貼付用紙	全員

郵送出願締切:2026年9月7日(月) 《必着》

出願書類送付用宛名ラベル